

8月10日(水)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ
日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



©T.Tairadate

8/9 昭和音楽大学 恋と妄想のフランス音楽名曲集



指揮の田中祐子マエストロと出演者

お客様から

コスバ最高!素晴らしい演奏をこんな安さで聴けていいんですか!?(30代・アズマックス)/コンサート序盤はフォーレでしっとり始まり、シャブリエでは澁刺とした快演を見せたかと思えば、後半は「若き溢れるパトス炸裂の大熱演!」まるでベルリオーズが憑依したかのような、マエストロの情熱的な棒捌きに、見事に応える若きオーケストラの高いレスポンスビリティに圧倒されました!今回のようなピットリと息の合った演奏に接し、是非もう一度聴いてみたいと思った組み合わせです。(50代・トッポジョージ)/田中祐子&昭和音大の美しくかつメリハリが効いたサウンド感に襟を正される気持ちになりました。音楽は「魂の浄化作用」があると言われますが、まさに心が洗われる感覚を覚えて素晴らしいかったですね。(40代・らむ〜ど)/2年ぶりで田中祐子さんが指揮をとっていただき嬉しく思います。現在私の一押し指揮者さんです。(60代・無名)/若い人たちによる演奏会はハツラツとした音で気持ち良かったです。(70代・MM)/コロナ禍が続く会場にコンサートを聴きに行く機会が減ってしまいましたが、今回はオンライン配信もあり久しぶりにオーケストラの演奏を聴くことができました。田中祐子さんの指揮は本当に音楽を生き生きと描かれ、聴く人の気持ちにすっと入ってきます。演奏者の緊張感も喜びも伝わってきて素敵な演奏会でした。プログラムも良かったです。私の少ない夏休みのなかで今日の音楽が最高の癒しでした。今度はホールに聴きに行きたいです。(30代・アイスバー)

若さあふれる爽快な快演!

今年の4月から名古屋音大の教員も務める田中祐子が昭和音大の現役学生と卒業生によるオーケストラを指揮。サマーミュージアでの共演は2年ぶりだ。

まずは美しくも悲哀に満ちたフォーレの《ペレアスとメリザンド》組曲。〈前奏曲〉では、バランスのよい端正な響きや安定感のある弱音、高揚の中でも欠かない冷静さといった大人びた側面をみせた。〈シリエンヌ〉のフルートなどソリスト陣も素晴らしい。

ガラッと曲調を変えたシャブリエは、愉しく賑やか。〈楽しい行進曲〉では打楽器が活躍するが、弦楽器が埋もれる部分も。続く〈スラヴ舞曲〉で

は楽器の掛け合いが見事にハマリ、流れるような指揮に導かれて、音楽祭に相応しい祝祭的な雰囲気醸し出した。

後半のベルリオーズ《幻想交響曲》は、第1楽章冒頭では指揮者のこだわりもみられたが、第2楽章まではあっさりとした印象。最も繊細な第3楽章、客席からの雑音というトラブルに負けず、見事な独奏を聴



かせたコーラングレとオーボエに最大級の賛辞を贈りたい。そのためだろうか、楽章後半からアンサンブルが引き締まり、続く第4楽章では一体となって作品特有のケバケバしさを全面に押し出していく。このハラハラ感、そして爽快感がたまらない。終楽章では田中の煽りによる快速なテンポと意欲溢れる金管・打楽器群の強奏も相まって、まさに狂乱の宴に。この大音量でも音が飽和しないのは、ミュージアの音響の良さゆえだろう。このオケの魅力は高い技術だけでなく、その主体性にある。プロとはまた違ったこの愉しさ、ぜひ体感いただきたい。

(山崎圭資 音楽学・音楽評論)

配信控え室から

サマーミュージアは配信も充実!
見どころ・聴きどころや
配信の現場の声をお届けします。

上記レビュー公演のアーカイブ配信は
8/11(木・祝)正午から開始!



今日は、サマーミュージアのライブ配信の名物「バックステージカメラ」が大活躍。昭和音大の学生さんが元気よくノリノリでアピール。負けじと(?)マエストロもまさかのダンスパフォーマンス。最後はフレッシュで熱い幻想交響曲で締められました!
(From 配信担当 S)

【出演】指揮：田中祐子
管弦楽：昭和音楽大学管弦楽団、テアトロ・ジョーリオ・ショウワ・オーケストラ
【配信限定コンテンツ】
オープニングインタビュー：
渡邊ゆりの(修士2年 フルート)
アミリ 健 アルヴィン(学部3年 打楽器)
松浦雅樹(学部4年 ヴァイオリン)





モーツァルト・マチネ 特別版「魔笛」ハイライト

川崎市は、モーツァルトの生誕地・オーストリアのザルツブルクと友好都市の関係にあり、今年を提携30周年の記念イヤーです。そこで、1月のモーツァルト・マチネは特別版!

通常は休憩込みで約3時間のオペラ「魔笛」を、有名どころがギュギュっとつまった1時間のハイライトでお届けします。オペラを観に行く機会が無い!という方のオペラデビューにうってつけ。

新国立劇場のオペラ公演でレギュラーオーケストラを務める東京交響楽団、オペラも数多く指揮する若手筆頭の川瀬賢太郎、モーツァルトを得意とするモーツァルト・シンガーズ・ジャパン、そして宮本益光によるナレーションというなんとも豪華な組み合わせで、モーツァルト屈指の名作をお楽しみいただけます。オペラに通い慣れた方も、開放的なミュージアのステージで、劇場とは違ったオペラ体験になるはず!休日の午前中、ご家族やお知り合いを誘って、ぜひお越しください。

1月まであと半年...でも半年なんてきっとあっという間。真夏の今、お正月明けをワクワクと待つのもまた良いものです。(事業企画課か)

1月まであと半年...でも半年なんてきっとあっという間。真夏の今、お正月明けをワクワクと待つのもまた良いものです。(事業企画課か)



©Yoshinori Kurosawa

指揮:川瀬賢太郎



タミーノ:澤原行正



パミーナ:嘉目真木子



パパゲーノ:近藤 圭



ナレーション:宮本益光



夜の女王:針生美智子



パパゲーノ:鶴木絵里

モーツァルト・マチネ

～川崎市・ザルツブルク市友好都市提携30周年記念
2023年1月21日(土) 11:00 開演

【出演】指揮:川瀬賢太郎

共演:モーツァルト・シンガーズ・ジャパン(MSJ)

タミーノ:澤原行正 パミーナ:嘉目真木子

夜の女王:針生美智子

パパゲーノ:近藤 圭 パパゲーノ:鶴木絵里

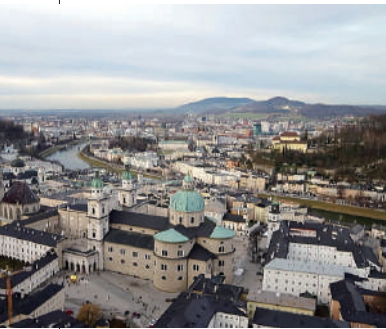
ナレーション:宮本益光

管弦楽:東京交響楽団

【曲目】モーツァルト:歌劇『魔笛』ハイライト ※日本語字幕付き
「オイラは鳥刺し」

「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」 他

【チケット】全席指定 ¥4,000 U25(小学生~25歳) ¥1,500



パートナーショップのご紹介

エンジョイ!

川崎!!

Enjoy Kawasaki

食べたいものを、
食べたいだけ!!

夏バテ撃退のためにがっつり? いや、疲れた体を労わってやさしいもの? どちらの気分でも満たしてくれるのが、そう、回転寿司!

アゼリアにある「回転寿司みさき」は新鮮なネタが豊富で、回転レーンを流れてくる寿司もキラキラ。タッチパネルで注文することもでき、目の前で職人さんが握ってください



まずはお好きな海老を...と思ったら何ともおいしいそうなアジが。脂が乗っているのにさっぱりしていて、あぁ一皿では足りない!あれもこれも食べたい私にはクーポン利用で10%引きは何よりうれしいサービスです。カウンター席だけでなくボックス席もありますのでご家族と、ご友人とコンサートの前後にお立ち寄りください。(事業企画課・わ)

1 アゼリア地下

回転寿司みさき

パートナーショップ特典

飲食代 10%OFF

※同伴者も利用可

コンサートと一緒に
もうひとつのお楽しみ!

PARTNER SHOP

↑サービス対象店舗はこのPOPが目印!
スマホからクーポン券を提示するだけ!
クーポン券は7/23~8/11まで
何度でも利用できます。
公演がない日でももちろんOK!

掲載店一覧はこちら

フェスタサマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ

#夏ジャン

で検索 & 投稿

お待ちしております!



Twitter: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

「出張サマーミュージザ@しんゆりー」の公演で昭和音楽大学アットロ・ジョーリオ・シヨウウにスタッフとしてお邪魔しました。アットロ・ジョーリオにお邪魔するのは初めてだったので、まずホールの方立派さに驚きました。千三百名以上のお客様を収容できるホールですが、同時にアットホームな温かさも感じました。

7月31日は東京交響楽団が、8月6日は神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、いずれも素晴らしい演奏を披露してくださいました。両日とも大変蒸し暑い中、大勢のお客様にご来場いただき、心より感謝申し上げます。(小田急治線住人)

毎日
日刊サマーミュージザ
Hobo Nikkan Summer Muza



ス
タ
ツ
フ
日
誌